

● 月例経済報告（10/29）

<p><b>基調判断</b></p>	<p>(10月) 景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。</p> <p>(9月) 景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。</p>
<p><b>個人消費</b></p>	<p>(10月) 一部に足踏みが残るものの、このところ持ち直しの動きがみられる。</p> <p>(9月) 一部に足踏みが残るものの、このところ持ち直しの動きがみられる。</p> <div data-bbox="662 533 1364 891"> </div>
<p><b>設備投資</b></p>	<p>(10月) 持ち直しの動きがみられる。</p> <p>(9月) 持ち直しの動きがみられる。</p> <div data-bbox="662 925 1364 1294"> </div>
<p><b>住宅建設</b></p>	<p>(10月) おおむね横ばいとなっている。</p> <p>(9月) おおむね横ばいとなっている。</p> <div data-bbox="662 1317 1364 1686"> </div>
<p><b>雇用情勢</b></p>	<p>(10月) 改善の動きがみられる。</p> <p>(9月) 改善の動きがみられる。</p> <div data-bbox="662 1709 1364 2078"> </div>

<p><b>生産</b></p>	<p>(10月) <u>このところ横ばいとなっている</u></p> <p>(9月) 持ち直しの動きがみられる</p>	<p>鉱工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移</p>															
<p><b>輸出</b></p>	<p>(10月) 持ち直しの動きに足踏みがみられる。</p> <p>(9月) 持ち直しの動きに足踏みがみられる。</p>	<p>地域別輸出入数量指数</p> <p>①輸出</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>9月</th> <th>3MA</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>+5.0%</td> <td>+1.1%</td> </tr> <tr> <td>アジア</td> <td>+3.2%</td> <td>+1.4%</td> </tr> <tr> <td>アメリカ</td> <td>+16.3%</td> <td>+3.5%</td> </tr> <tr> <td>EU</td> <td>+7.5%</td> <td>+3.5%</td> </tr> </tbody> </table>	地域	9月	3MA	全体	+5.0%	+1.1%	アジア	+3.2%	+1.4%	アメリカ	+16.3%	+3.5%	EU	+7.5%	+3.5%
地域	9月	3MA															
全体	+5.0%	+1.1%															
アジア	+3.2%	+1.4%															
アメリカ	+16.3%	+3.5%															
EU	+7.5%	+3.5%															
<p><b>国内企業物価</b></p>	<p>(10月) <u>このところ上昇テンポが鈍化している。</u></p> <p>(9月) 緩やかに上昇している。</p>	<p>企業物価の推移</p>															
<p><b>消費者物価</b></p>	<p>(10月) 緩やかに上昇している。</p> <p>(9月) 緩やかに上昇している。</p>	<p>消費者物価の推移 (連鎖基準、指数)</p>															
<p><b>海外経済</b></p>	<p>(10月) 世界の景気は、一部の地域において足踏みがみられるものの、持ち直している。先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響による下振れリスクに留意する必要がある。また、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動の影響を注視する必要がある。</p> <p>(9月) 世界の景気は、一部の地域において足踏みがみられるものの、持ち直している。先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響による下振れリスクに留意する必要がある。また、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動の影響を注視する必要がある。</p>																

月例経済報告：内閣府